



活動目標は『介護保険利用料が倍になる！！』のを防ぐこと

今、7月中旬、ここ数年の猛暑と打って変わった梅雨寒が続く毎日です。酷暑も困りますが、日照不足で作物の出来も悪いのも困ります。「ちょうど良い」暑さは望めないものでしょうか。この通信がお手元に届く頃にはどうなっていることでしょうか。

さて、6月16日に第17回定例総会が無事終了しました。毎回分厚くなる総会議案書は、ページ数を更新し84ページになりました。それだけ報告すべきことが増えていて、議案書作成は法人上げての大仕事です。残部がありますので、興味がある方はご連絡ください。

ここ数年決算状況は好調が続いているので、なぜなのか振り返ってみました。すると、収入を伴う事業が出揃った2013年度から5年で職員が31人増えていました。最も採用が多かったのは始まって間もない食事部門の「えんの食卓」ですが、稼働時間が短い配達担当はリタイアした男性や子育て中の女性などが担ってくれています。若い世代は数年後にはヘルパー資格を取得して訪問介護と兼務するようになった人も。ケアプランえんは、障がい者の相談支援事業が加わった上に介護保険のケアマネジャーも増えたため人数も収入も増えています。新しく入ってきた職員がほぼ離職していないのが好調の要因でしょう。他には特段何が幸いしたといえる要因は見つかりませんでしたから、みんなでコツコツ努力した結果が数字に表れたということでしょう。また、5年目に入った『認知症カフェ』や3年目の『だれでも食堂』などを通じて、「介護」事業とは別の入り口からえんと繋がる地域の方々が増えたことも支えになっているように思います。

そして今年度の重点事業は、まず昨年度から持ち越しの多機能ホームまどかの増改築。床の間や欄間がある懐かしいたたずまいの古い木造家屋で、利用者さんからも親しまれています。けれども開設から12年、利用者が順調に増えた結果なのですが、人が増えて落ち着かない日が増えました。今年度いっぱい準備を進め、来年度には着工の予定です。

何より差し迫っているのが、介護保険利用料の一律2割化です。ケアプランも有料化が検討されています。今は所得に応じて1割、2割、3割に分かれています。標準を2割に、要するに2倍にしようとしています。一律1割負担から所得に応じて2割負担が導入されたとき「負担願える層に」と説明がありましたが、今でも年金が少ないからと必要なサービスを利用できない人も少なくないのです。マスコミがあまり伝えてくれない中ですが、なんとしても食い止めたい「改悪」です。力を貸してください。

(代表理事／小島美里)